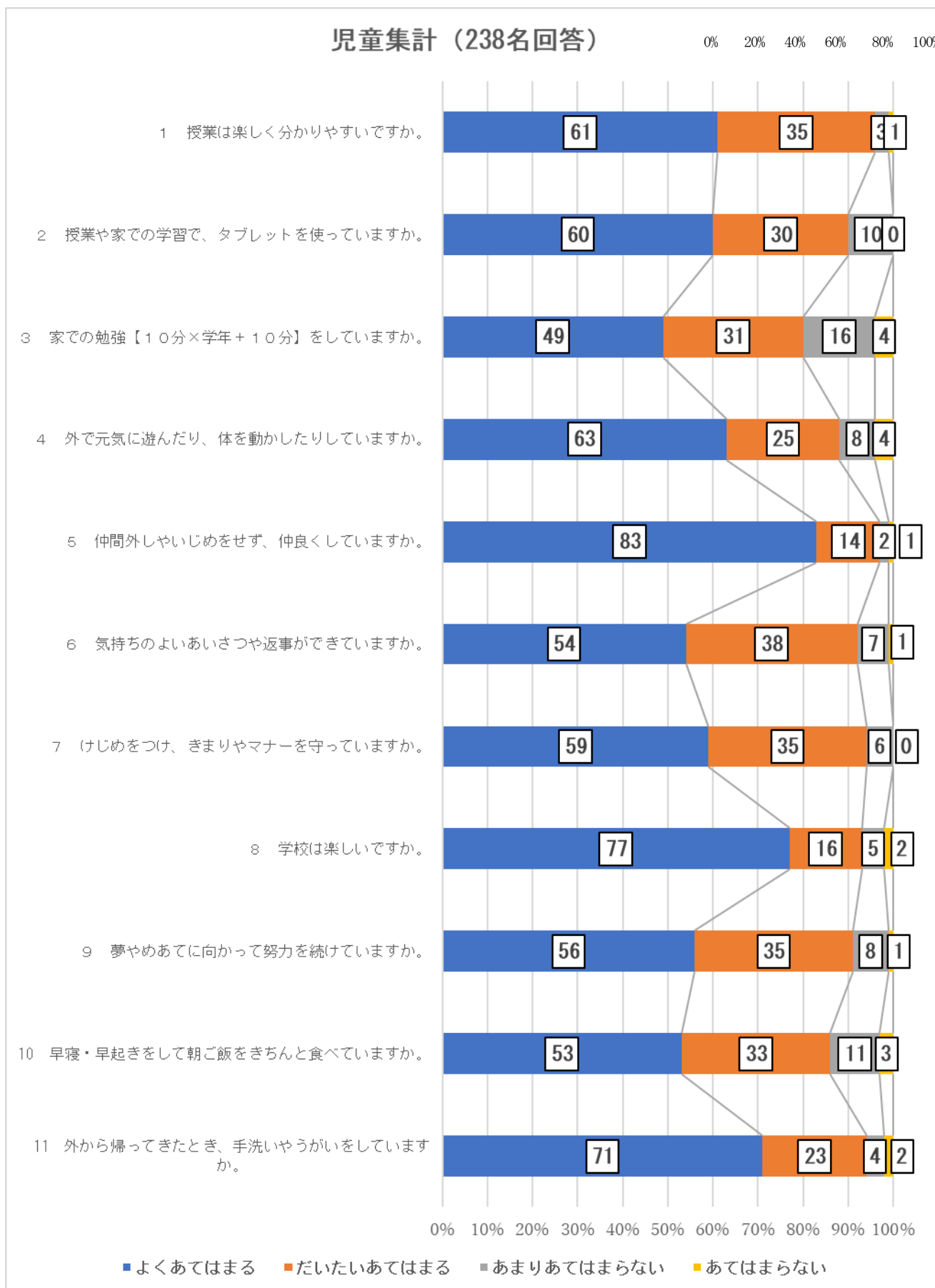
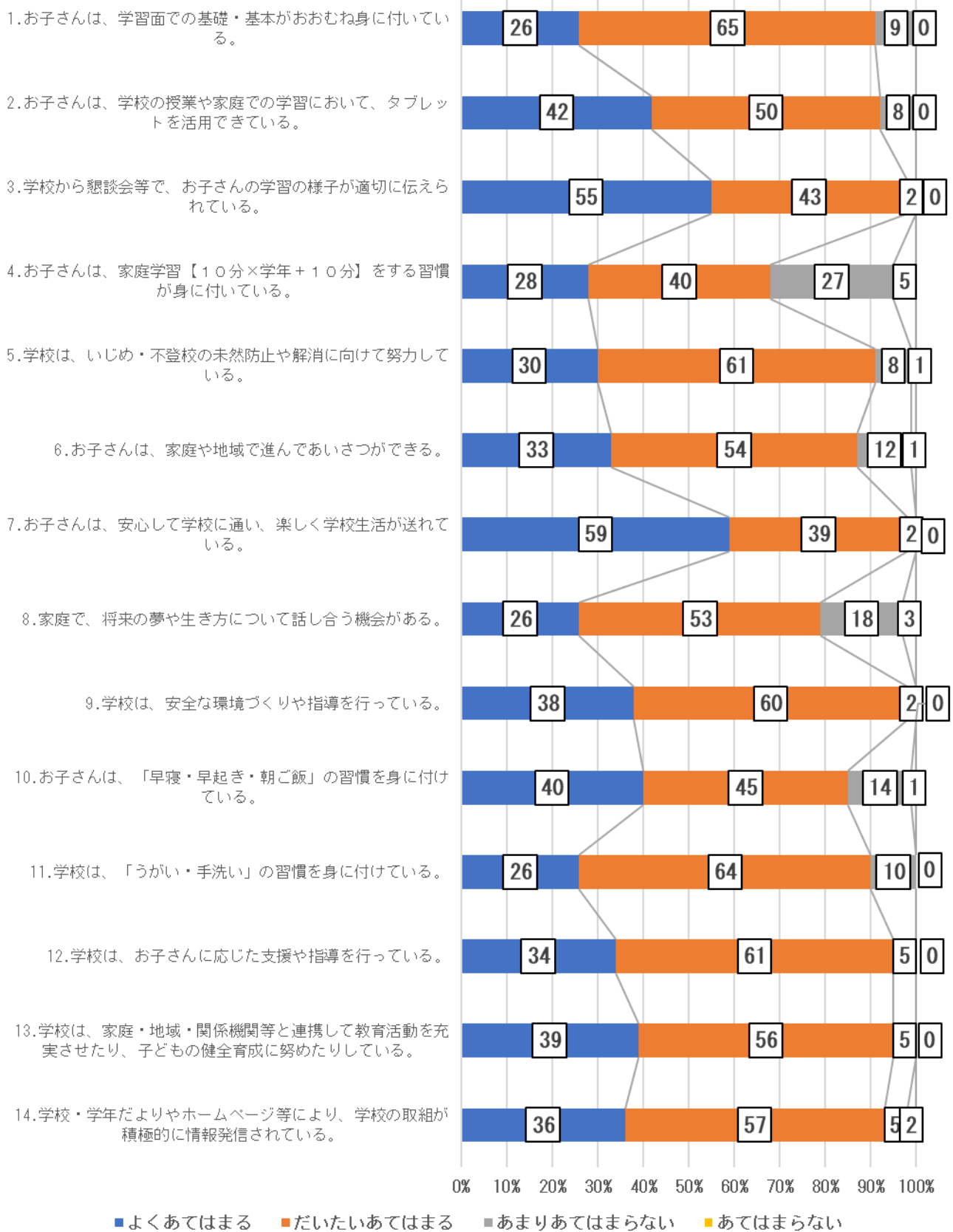


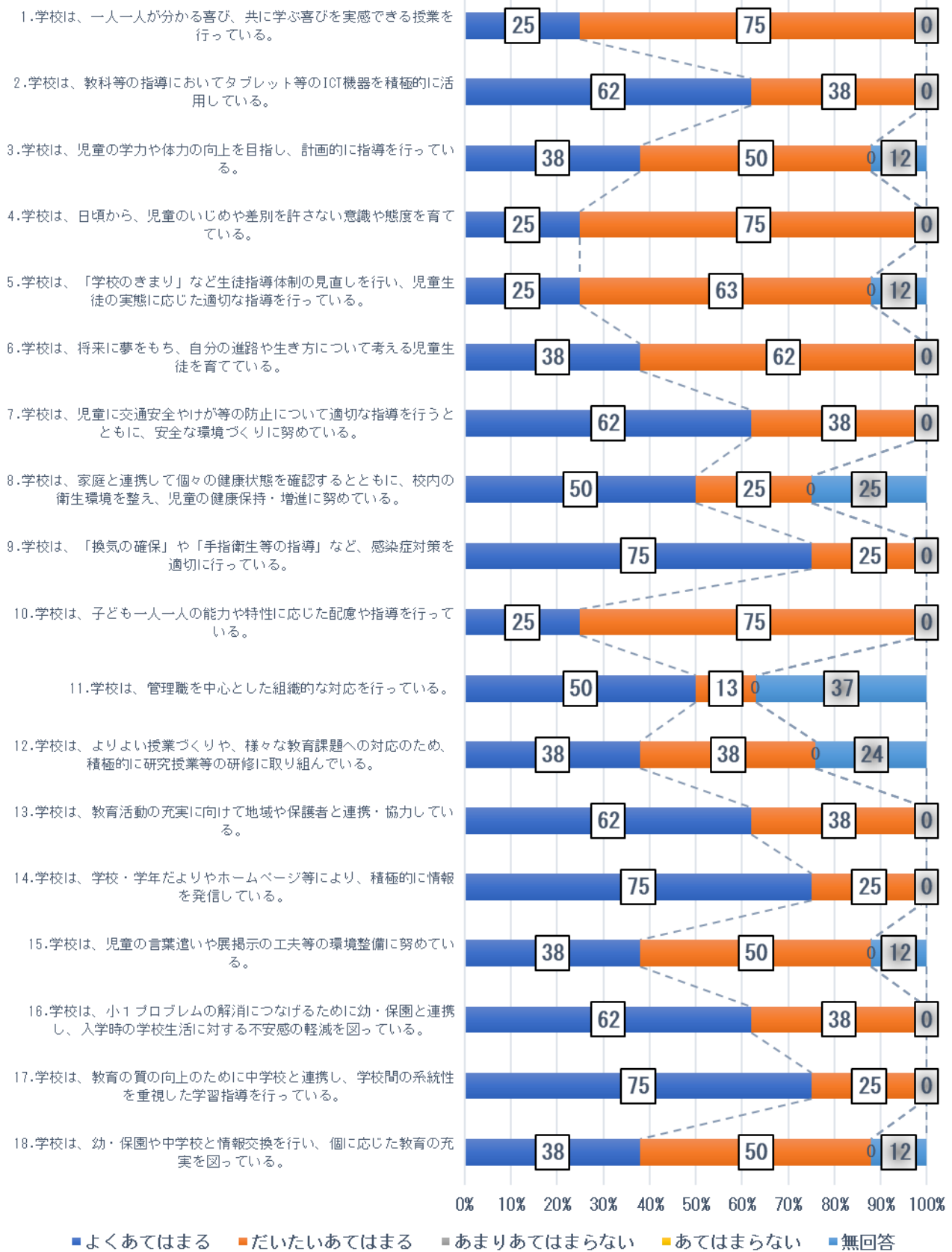
Ⅰ アンケート結果



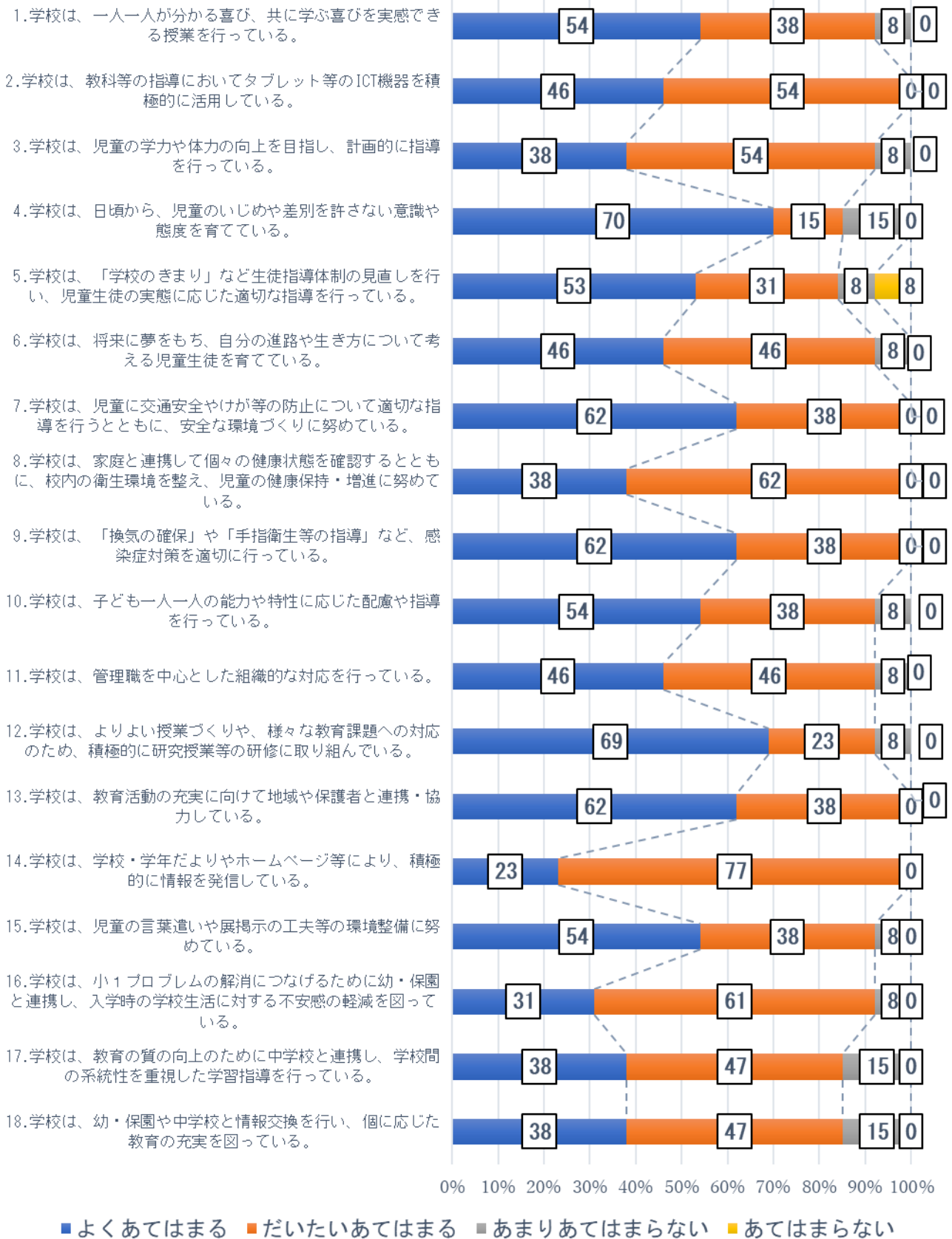
## 保護者集計結果（132名回答）



# 地域アンケート



## 教職員自己評価



## 2 アンケートの分析について

アンケートの分析(1)~(4)(児童・保護者・地域アンケート、教職員自己評価について)における「肯定率」とは、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が全体に占める割合のことです。

### (1) 児童アンケートについて

学校生活において、【1授業について】(肯定率 96%)、【5仲良くする】(同 97%)、【6挨拶】(同92%)、【7けじめ・決まりやマナー】(同94%)、【8学校は楽しい】(同93%)、【9努力】(同91%)、【11手洗い・うがい】(同94%)については評価が高かった。児童にとって、学習や友達との関わり楽しさや喜びを感じ、学校を楽しく安心できる場所としてとらえている児童が多いことが分かる。また、コロナ禍を経て、児童の感染症予防への意識が高い状態で保たれていることもうかがえる。ただ、評価の高い上記の項目についてもそれぞれ少数ではあるが、満足感や達成感を得られていない児童がいることは、課題として考えられる。児童の学校生活の様子をさらにきめ細かく観察し、個別最適な支援を行っていくことが大切であると考える。また、評価項目の中で、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の割合が高く、肯定率が低かったのが、【3家庭学習】(同80%)の項目であった。この項目はこれまでも同様の傾向が見られ、本校としても改善に向け、今後も工夫・努力を続けていくべき課題として位置づけている。今年度、TV放送などをとおして、家庭学習の在り方について児童の理解を得られるよう、取り組んできたが、まだ改善の余地があると考えられる。学力の定着と向上のためにも、今後も家庭と協力した家庭学習習慣の確立に向け、取り組んでいきたい。

### (2) 保護者アンケートについて

保護者アンケートでは、学校の教育活動に対して、概ね肯定的な回答を得ることができた。特に、【3情報の提供】(肯定率98%)や、【7楽しい学校生活】(同98%)の評価が高いことが分かった。ほかにも、【9安全な環境づくり】(同98%)、【12個に応じた支援】(同95%)、【13 家庭・地域・各機関との連携】(同95%)についても「おおむねあてはまる」が多いが肯定率は90%を超えている。

一方で、【4家庭学習】(同68%)については肯定率が最も低く、児童アンケートの結果とも重なっている。また、【8家庭で将来の話題】(同79%)の評価もほかの項目と比べて低く、家庭での学習習慣の定着についての啓発を進めたり、児童が保護者と共に自分の将来や生き方について話し合うきっかけとなるような情報提供を行ったりするなど、引き続き、家庭との連携をより強めていく取組が必要であると考えられる。

### (3) 地域アンケートについて

今年度、コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い、学校の教育活動もコロナ禍以前の水準に戻すことができたものが多く挙げられるようになった。運動会や150周年記念行事などは、地域にも案内し、多くの方に参加していただくことができた。それに伴って、昨年度、多く見られた無回答の項目が今年度は減少しており、以前と比べて、地域の方にも学校の様子を把握していただけるようになってきているととらえている。その中で、肯定率が100%で、「よくあてはまる」の評価が比較的多かった【2ICTの活用】、【7安心・安全な環境づくり】、【9感染症対策】、【13地域・保護者との連携】、【14情報発信】、【17小中連携】などについては一定の評価を得ることができたと考えられる。

反面、【11組織的な対応】については、肯定率も63%と低く、無回答の割合も高かった。学校の取組や教育方針等を地域の方により一層理解していただけるよう、HPや学校便り等を活用し、きめ細かく情報発信をしていく必要があると考えている。

### (4) 教職員自己評価について

教職員アンケートでは、【2ICTの活用】、【7安全な環境づくり】、【8健康の保持・増進】、【9感染症対策】、【13地域・保護者との連携】、【14情報発信】などについては、肯定率が100%で、自己評価が高かった。

反面、【5生徒指導体制】の項目は、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の割合が各8%で、自己評価が低かった。学校全体として、指導方法の共通理解を図り、一貫した指導や支援を児童に対して行うことができるよう、生徒指導体制の見直しと改善を図っていく必要があると考える。また、児童が学校のきまりなどについて十分に理解できるよう、指導の工夫と徹底を図っていききたいと考える。

ほかにも、【14情報発信】については、肯定率は100%であるものの、「よくあてはまる」の割合は全項目中一番低かった。日常の業務を行う中で、より効率的で効果的な情報発信の在り方についても検討し、実践していくことができるよう、努力を続けていきたいと考えている。

### 3 学校への主な御意見・御要望及び回答

#### (1) 高浜小のよいところ

- ・ 海と山に囲まれた自然豊かな環境で学べるので、のびのびと学校生活を送ることができている。
- ・ 小規模校のため、教員が児童に寄り添い、きちんとした指導が期待できる。教員が児童一人一人をしっかりと見てくれていると感じている。
- ・ 教職員が個別の質問や要望にも、丁寧に検討・返答してくれている。
- ・ 欠席時には、ロイロノートを活用して、学級担任から計画帳やメッセージが届き、助かっている。
- ・ 少人数であることで、児童同士の関わりも深くなり、全体的に仲がよいと感じる。他の学年と触れ合う機会も多く、刺激があつてよい。
- ・ 子どもたちは優しいと思う。下校時など、上級生が下級生に優しく関わっているのを見かける。
- ・ 地域の方が見守ってくださっている。登下校では、たくさんの方の目があり、安心して子どもを通わせることができる。
- ・ 高浜小学校の子どもたちが、子どもらしく健やかに育っているのを、日頃の様子や授業などを見て感じている。

#### (2) 高浜小学校に改善してほしいところ

- 学校行事、部活動の送り迎え等で運動場を駐車場として開放してほしい。
  - ・ 本校の敷地内の状況は、体育館南側の通路は児童も使用しており、なおかつ、通路の幅も大変狭く車同士の離合ができないため、学校内での事故や渋滞の可能性があるとというのが現状です。また、事故や渋滞のほかにも学校行事の運営に支障をきたすことも想定されるため、原則運動場は開放していません。  
ただし、特別な事情があるときには、十分に安全面等が確保されるかを考慮した上で、開放することもあります。例えば、卒業式や入学式への参加、修学旅行や部活動(水泳・すもう)の送り迎えの時は、運動場を開放する予定です。  
御不便をお掛けしますが、何卒御理解ください。
- 細かな連絡や相談がしやすい環境をつくってほしい。
  - ・ 教員が、日頃から児童の様子を丁寧に見守ったり、児童とのコミュニケーションを積極的にとったりすることで、児童の些細な変化に気づくことができるよう努めていきます。また、いじめアンケートや日記など、児童の気持ちや困り事を把握していくことができるものを通して、様々な問題の早期発見に努めていきます。また、児童や保護者の方との人間関係づくりをこれからも大切にするとともに、細かな悩み事や相談事であっても気軽に話していただけるような学級づくり、学校づくりを目指していきたいと思っております。
- 教室やトイレの掃除をしっかりとしてほしい。
  - ・ 掃除の仕方や掃除への意識づけについては、折に触れて指導を行っていますが、十分でないところもあり、課題として受け止めています。少ない人数で広範囲を掃除していることなども原因の一つとして考えられます。掃除の仕方をしっかりと理解し、粘り強く掃除に取り組んでいけるよう、児童にも引き続き指導していきたいと思っております。また、教室やトイレをはじめ、学校内外の各施設を正しく美しく利用することの大切さについても、子どもの意識を高めていくことができるよう指導を続けていきたいと思っております。
- HPの掲載の記事に偏りがあつたり、分かりにくかつたり(写真等)することがある。
  - ・ 写真については、個人情報保護の観点により、ある程度解像度を抑えたものを掲載するようにしていますこと、御理解ください。記事については、今一度、保護者の皆様や地域の方の目線に立って吟味し、より分かりやすく充実したものを計画的に掲載していくよう努力してまいります。